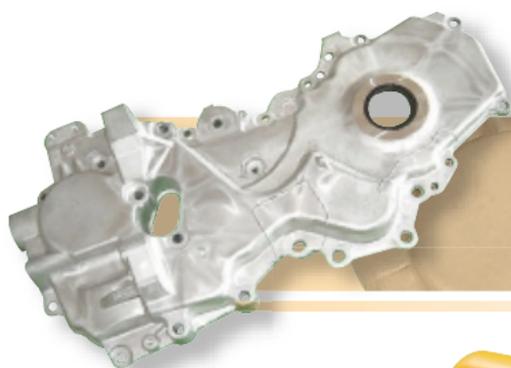


株主のみなさまへ

第93期 中間報告書

平成16年4月1日から
平成16年9月30日まで



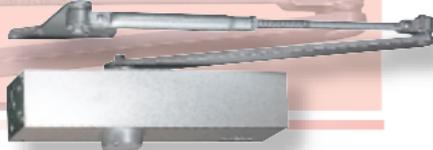
DIE CASTINGS

POWER TOOLS



PRINTING EQUIPMENT

BUILDERS' HARDWARE



RYOBI
リョービ株式会社

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

第93期（平成17年3月期）中間報告書をお届けするにあたり、経営施策及び業績の概況等についてご報告申し上げます。

経営方針

当社は「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念に、お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることを目指しております。持続的な価値創造と、よりよい社会の実現を目指し、社会的責任を果たすことを経営の基本としております。

また、将来へ向けて成長・発展し続けるために、競争力強化、収益力向上の取り組みを、それぞれの事業分野で一層推進しております。

業績の概況

当中間期のわが国経済は、設備投資の増加とともに生産や輸出などが増え、堅調に回復してまいりました。また、海外においては、米国やアジアの景気が順調に拡大、欧州も回復傾向を示してまいりました。しかしながら、原油や原材料価格の上昇によるコストアップが収益に影響を与え、先行きが懸念されております。

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など、諸施策を実行してまいりました。その結果、当中間期の連結決算は前中間期に比べて増収、営業利益・経常利益は増益、中間純利益は減益となりました。経常利益は過去最高額でしたが、中間純利益は前期のような特別利益がないため減益となりました。

（単位：百万円）

	連結（前中間期比）	<参考> 単独（前中間期比）
売上高	77,422（2.0%増）	53,036（4.2%増）
	国内 55,178（3.5%増） 海外 22,244（1.5%減）	国内 43,234（4.0%増） 輸出 9,801（5.1%増）
営業利益	4,780（4.7%増）	2,477（8.5%増）
経常利益	5,143（11.5%増）	3,006（13.5%増）
中間純利益	2,806（72.5%減）	1,657（80.1%減）

なお、当期の配当につきましては、平成16年5月14日付で発表しましたように、中間期では行わず、期末配当としてまとめて行う予定しております。

通期の見通し

国内は景気回復基調にあります。原油や原材料価格の値上がり、為替変動や中東情勢など、先行きの懸念材料がいろいろあります。当社グループとしましては、さらなるコストダウンや生産性向上の取り組みを一層強化し、競争力の強化、収益力の向上をはかってまいります。

現時点における通期の業績見通しは次のとおりであります。

（単位：百万円）

	連結（前期比）	<参考> 単独（前期比）
売上高	154,500（0.5%減）	108,000（1.5%増）
経常利益	9,700（3.0%減）	6,800（6.0%増）
当期純利益	5,400（57.9%減）	3,800（58.3%減）

売上高は印刷機器事業、建機機器事業が伸ばすものの、ダイカスト事業は米欧の子会社の生産減を見込んでおり、為替の影響もあって全体では前期比減収となる見通しであります。利益につきましては、売上高の減少に加えて、前期のような特別利益がないため減益となる見通しであります。

以上のとおりご報告申し上げますとともに、株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月



代表取締役会長

代表取締役社長

浦上 浩 吉川 進

事業別の概況

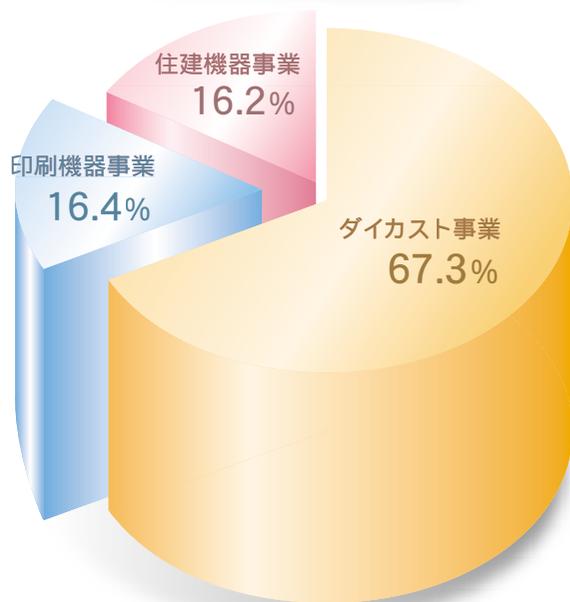
ダイカスト事業

521億円

売上高は521億40百万円(1.2%増)、営業利益は24億70百万円(4.7%減)、売上高営業利益率は4.7%(前中間期は5.0%)となりました。円高(対米ドル)による為替換算の影響などもあり、北米の子会社の売上が減少しましたが、国内自動車メーカー向けなどで補い、全体では増収となりました。利益につきましては、コスト削減や業務改善などに取り組みましたが、プライスダウンを吸収しきれず、減益となりました。

地球環境保護、省資源、省エネルギーは世界的なテーマであり、ダイカストはこれらを実現する有効な技術として、今後ますます成長することが期待されております。世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウ、日米欧三極での生産体制などを活かし、自動車分野はもとより、自動車以外の分野へも用途を拡大してまいります。

連結売上高構成比



印刷機器事業

127億円

売上高は127億5百万円(8.3%増)、営業利益は11億26百万円(25.3%増)、売上高営業利益率は8.9%(前中間期は7.7%)となりました。中型印刷機(B2-A2-B3サイズ)を中心に拡販に努め、国内販売、輸出とも伸ばしました。利益につきましては、売上高が増加したこと、生産リードタイムの短縮などコストダウンを一層進めたことにより、増益となりました。

今後も引き続き精度の高い多色化と機能の高度化を追求し、世界市場での評価を一層強固にするため、新商品の開発、生産力・販売力の強化などを進めてまいります。また、IT化、デジタル化に対応した商品や環境に配慮した商品を開発するなど、マーケットニーズをとらえた商品の提供、販売促進活動を積極的に行い、さらなる収益拡大をめざしてまいります。

住建機器事業

125億円

この事業はパワーツール(電動工具、園芸用機器等)と建築用品(ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)で構成しております。

売上高は125億76百万円(2.2%増)、営業利益は11億円83百万円(7.5%増)、売上高営業利益率は9.4%(前中間期は8.9%)となりました。パワーツールの国内販売は減少しましたが、パワーツールの輸出および建築用品の国内販売が伸びたことにより、全体では増収となりました。利益につきましては、売上高の増加に加えて、生産効率の向上などに取り組み、増益となりました。

今後も中国・大連など海外で生産する強みを活かしてコストダウンを進め、価格競争力のある商品、特長のある商品を提供し、販売力を一層強化して収益向上をはかってまいります。

()内は前中間期比

TOPICS

軽さとリサイクル性で、省エネルギー・省資源に貢献するダイカスト

当社は、コンピューターを駆使した解析から金型の設計・製作、鋳造、加工、組立に至るまでを一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。

ダイカスト製品は、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れ、省エネルギー、省資源の面からも注目されています。特に、軽量化による低燃費を目指す自動車には、エンジン、トランスミッションなどの部品として数多く採用されています。その一例として、新型車「ラフェスタ(日産自動車株式会社)」のエンジン部品に当社製品が採用されました。

また、新規分野のダイカスト化にも注力しており、家電、OA機器、産業機器、建築用品など様々な分野で、多様化する用途やニーズに対し、信頼の技術で応えています。



エンジン部品
日産自動車株式会社様の
「ラフェスタ」へ搭載

進化したダイレクトイメージングシステム搭載の「RYOBI 3404X-DI」を発売

好評のダイレクトイメージングシステムをグレードアップ。より高精度な印刷再現性を実現し、印刷品質をさらに向上させた「RYOBI 3404X-DI」を発売しました。ますます多様化するショートランカラー印刷市場に柔軟に対応するため、印刷会社のお客様はもちろん、製版会社・プリントショップなどのお客様においても、大きなビジネスチャンスを創出します。



家庭で手軽に使える電気式ガーデニングソー「GCS-1500」を発売

庭木の枝払いや木材の切断などに最適な超小型・軽量ガーデニングソー「GCS-1500」を発売しました。

本体は1.4kgと軽量で、チェーン刃上部に新開発の安全カバーを装備するなど、枝打ちから枝の廃棄処理までを手軽に安全に行えます。

また、今年度の「(社)日本DIY協会会長賞」を受賞し、お客様からも高い評価をいただいています。



国際規格へ対応する「JISグレード1」ドアクローザを発売



「JISグレード1」対応のドアクローザをメインシリーズである1000シリーズと、海外でも活躍している3000シリーズに追加しました。従来品よりもドアを閉める力が強く、しかもドアを開く力の割合は小さくなり、2.5倍の耐久性を備えています。

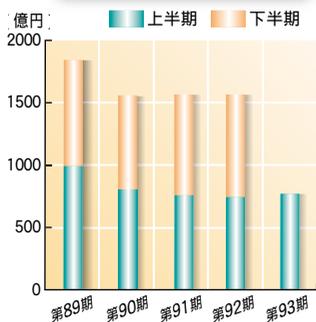
業績の推移 (連結) 平成16年9月30日現在

財務ハイライト 中間

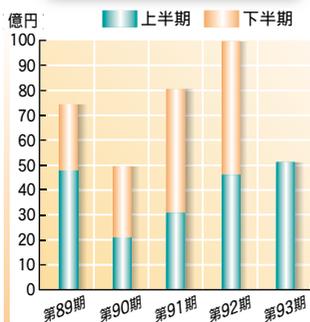
(平成・月)	第89期 12.4～12.9	第90期 13.4～13.9	第91期 14.4～14.9	第92期 15.4～15.9	第93期 16.4～16.9
売上高(百万円)	99,156	79,943	76,308	75,893	77,422
経常利益(百万円)	4,782	2,050	3,084	4,614	5,143
中間純利益(百万円)	410	815	1,283	10,201	2,806
1株当たり中間純利益(円)	2.40	4.77	7.52	60.72	16.77
総資産(百万円)	220,192	179,291	159,769	161,803	155,370
純資産(百万円)	27,066	30,091	34,372	47,016	51,550
1株当たり純資産(円)	158.64	176.28	201.66	280.89	308.02

注 印は、中間純損失及び1株当たり中間純損失を示しております。

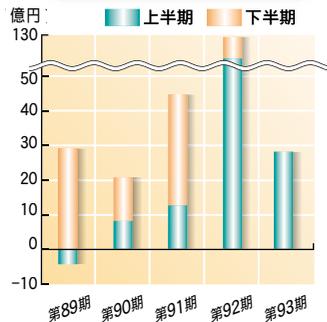
売上高



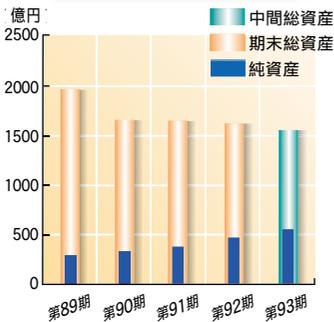
経常利益



当期中間純利益



総資産・純資産



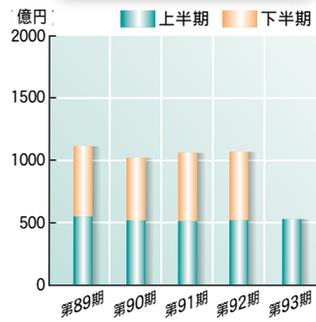
業績の推移 (単独) 平成16年9月30日現在

財務ハイライト 中間

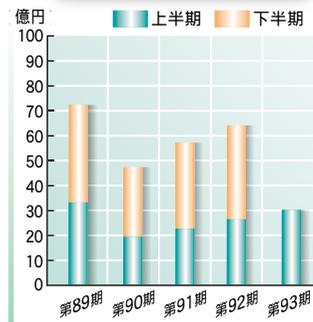
(平成・月)	第89期 12.4～12.9	第90期 13.4～13.9	第91期 14.4～14.9	第92期 15.4～15.9	第93期 16.4～16.9
売上高(百万円)	56,678	51,264	50,848	50,914	53,036
経常利益(百万円)	3,317	1,942	2,274	2,649	3,006
中間純利益(百万円)	516	1,129	1,292	8,347	1,657
1株当たり中間純利益(円)	3.02	6.59	7.55	49.59	9.88
総資産(百万円)	172,025	135,042	121,453	122,425	120,377
純資産(百万円)	31,118	30,784	35,005	44,754	46,562
1株当たり純資産(円)	181.73	179.78	204.74	266.89	277.68

注 1.1株当たり中間純利益は、第89期は期中平均株式数に基づいて、第90期以降は自己株式数を控除した期中平均株式数に基づいて算出してあります。
2.1株当たり純資産は、第89期は期末発行済株式総数に基づいて、第90期以降は自己株式数を控除した期末発行済株式総数に基づいて算出してあります。

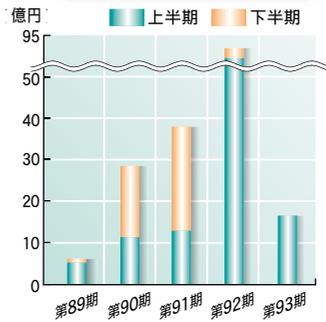
売上高



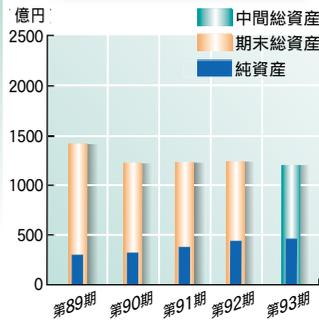
経常利益



当期中間純利益



総資産・純資産



貸借対照表(単独) 平成16年9月30日現在

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	68,789	流動負債	56,433
現金及び預金	10,694	支払手形	5,127
受取手形	3,583	買掛金	17,302
売掛金	29,168	短期借入金	14,100
有価証券	604	1年内返済長期借入金	11,211
製品	9,494	未払金	3,247
原材料	1,972	未払費用	742
仕掛品	7,625	賞与引当金	1,114
貯蔵品	721	従業員預り金	1,478
繰延税金資産	2,215	割賦販売繰延金	1,297
未収入金	2,578	その他の流動負債	810
その他の流動資産	144	固定負債	17,381
貸倒引当金	14	長期借入金	12,758
固定資産	51,588	退職給付引当金	4,519
有形固定資産	29,210	その他の固定負債	103
建築物	7,500	負債合計	73,815
構築物	448		
機械及び装置	4,503		
車両運搬具	66		
工具器具備品	1,018		
土地	15,636		
建設仮勘定	36		
無形固定資産	175		
投資その他の資産	22,202		
投資有価証券	8,566		
子会社株式	6,508		
子会社出資金	3,120		
繰延税金資産	2,192		
その他の投資等	1,854		
貸倒引当金	38		
資産合計	120,377	資本の部	
		資本金	18,472
		資本剰余金	23,517
		資本準備金	11,617
		その他資本剰余金	11,900
		利益剰余金	2,416
		中間未処分利益	2,416
		株式等評価差額金	2,800
		其他有価証券評価差額金	2,800
		自己株式	644
		資本合計	46,562
		負債・資本合計	120,377

- (注)1.有形固定資産の減価償却累計額 41,947^{百万円}
 2.受取手形割引高 510^{百万円}
 3.保証債務 9,628^{百万円}
 4.時価評価により増加した純資産額 2,800^{百万円}
 5.自己株式保有数 3,545,558^株

損益計算書(単独) 平成16年4月1日から平成16年9月30日まで

(単位:百万円)

科目		金額	
経常損益の部	営業損益	売上高	53,036
		売上原価	43,752
		割賦販売損益繰延金	94
		販売費及び一般管理費	6,712
		営業利益	2,477
	営業外損益	受取利息	77
		受取配当金	110
		賃貸料	334
		その他の営業外収益	471
		支払利息	270
	その他の営業外費用	193	
経常利益		3,006	
特別損益の部	特別利益	固定資産処分益	24
		その他の特別利益	32
	特別損失	固定資産処分損	49
	投資有価証券評価損	128	
	役員退職慰労金	132	
税引前中間純利益		2,752	
法人税、住民税及び事業税		19	
法人税等調整額		1,076	
中間純利益		1,657	
前期繰越利益		759	
中間未処分利益		2,416	

株式の状況 平成16年9月30日現在

会社が発行する株式総数	500,000千株
発行済株式総数	171,230千株
自己株式保有数	3,545千株
株主数	16,106名

大株主

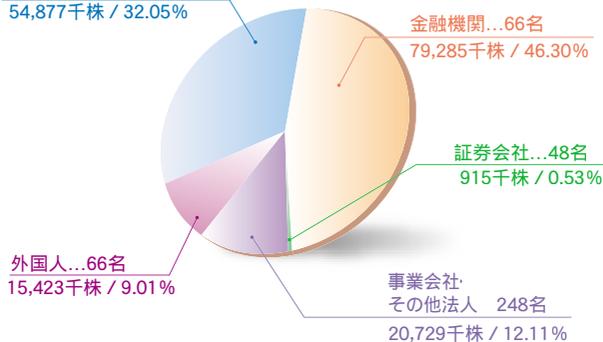
株主名	持株数	議決権比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	15,864千株	9.51%
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.58
第一生命保険相互会社	8,067	4.84
日本生命保険相互会社	7,830	4.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	6,120	3.67
株式会社東京三菱銀行	6,090	3.65
菱工会持株会	5,513	3.30
財団法人浦上奨学会	5,050	3.03
住友信託銀行株式会社	3,890	2.33
三菱信託銀行株式会社	3,324	1.99

(注)当社は、平成16年9月30日現在で自己株式を3,545千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株式分布状況

所有者別 合計 16,106名 / 171,230千株

個人・その他...15,678名
54,877千株 / 32.05%



会社の概要 平成16年12月6日現在

社名	リョービ株式会社
英文社名	RYOBI LIMITED
創立年月日	昭和18年12月16日
資本金	184億7,219万円
社員数	1,950名(平成16年10月31日現在)
主要商品	ダイカスト製品 印刷機器(オフセット印刷機、編集ソフト等) パワーツール(電動工具、園芸用機器等) 建築用品(ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)

本社・支社・支店・営業所・工場

本社	〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地	☎(0847)41-1111
東京支社	〒114-8518 東京都北区豊島5丁目2番8号	☎(03)3927-5541
虎ノ門オフィス	〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目7番1号虎ノ門セントラルビル	☎(03)3927-5541
大阪支店	〒569-1135 大阪府高槻市今城町24番12号	☎(072)685-1122
営業所	札幌・仙台・浜松・名古屋・富山・広島・福岡	
広島工場	〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地	☎(0847)41-1111
広島東工場	〒726-0002 広島県府中市鶴岡町800番地の2	☎(0847)40-1600
静岡工場	〒421-3292 静岡県庵原郡蒲原町蒲原5215番地の1	☎(0543)85-3101
印刷機器工場	〒726-0023 広島県府中市栗柄町444番地の1	☎(0847)45-5871

主なグループ会社

ダイカスト事業	印刷機器事業
リョービミラサカ株式会社	リョービマジクス株式会社
リョービミツギ株式会社	住建機器事業
株式会社東京軽合金製作所	リョービ販売株式会社
生野株式会社	リョービパワーツール株式会社
RYOBI DIE CASTING(USA)INC.	利優比(大連)机器有限公司
RYOBI ALUMINIUM CASTING(UK)LIMITED	良友精工股份有限公司

役員 平成16年12月6日現在

取締役	執行役員
代表取締役会長 浦上 浩	執行役員 石井 浩司
代表取締役社長 吉川 進	執行役員 伊東 邦侑
取締役 田中 孝雄	執行役員 鈴木 健二郎
取締役 横山 隆志	執行役員 浦上 彰
取締役 加村 幹夫	執行役員 本川 直道
取締役 室家 士郎	執行役員 檀上 和秋
監査役	執行役員 大澤 章治
常勤監査役 小林 照三	執行役員 堂本 秀樹
監査役 大岡 哲	
監査役 高橋 宏明	
監査役 豊田 國弘	

(注)取締役は全員執行役員を兼ねております。

「くらしごこち」がテーマです。



株式事務についてのご案内

- 決 算 期 3月31日
- 配 当 期 利益配当金支払株主確定関係 / 3月31日
中間配当金支払株主確定関係 / 9月30日
- 定時株主総会 6月中
- 基 準 日 3月31日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
- 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先 〒171-8508
及び電話照会先 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-707-696(フリーダイヤル)
- 同 取 次 所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店



リョービホームページでは、IRや商品等の最新情報に加えて、事業内容等を映像(動画)で紹介しています。是非ご覧ください。

<http://www.ryobi-group.co.jp/>